

算数科・数学科における指導の重点（身に付けさせたい力）※学習指導要領に照らし合わせて	
☐ ア 知識及び技能	☐ イ 思考力、判断力、表現力等
授業で学習する基本的な数の概念、式が分かるようになる。	自分で問題を解いた際、自分の考えを筋道を立てて説明し、相手に説明ができるようになる。

	児童・生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な手だて	成果検証（2月）
第1学年	☐ ア 小学校の学習内容の理解が不十分である。 ☐ イ 計算の過程の記述に不備が多い。	☐ ア 小学校の学習内容を用いる際、復習を丁寧に行う。 ☐ イ 質問対応時などで、計算・思考の過程を自分の言葉や式で説明する機会を増やす。	☐ ア 市学力調査【知識・技能】 ☐ イ 市学力調査【思考・判断・表現】 所見
第2学年	☐ ア 第1学年の学習内容の理解が不十分である。 ☐ イ 計算の過程の記述に不備が多い。	☐ ア 第1学年の学習内容を用いる際、復習を丁寧に行う。 ☐ イ 質問対応時などで、計算・思考の過程を自分の言葉や式で説明する機会を増やす。	☐ ア 市学力調査【知識・技能】 前年 57.3% ☐ イ 市学力調査【思考・判断・表現】 前年 36.5% 所見
第3学年	☐ ア 第2学年までの学習内容の理解が不十分である。 ☐ イ 計算の過程の記述に不備が多い。	☐ ア 第2学年までの学習内容を用いる際、復習を丁寧に行う。 ☐ イ 質問対応時などで、計算・思考の過程を自分の言葉や式で説明する機会を増やす。	

■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人1台端末等 ICT の効果的な活用について	■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について
1年: Temas などて資料を展開する。 2年: Temas などて資料を展開する。 3年: Temas などて資料を展開する。	1年: 定期試験後などで振り返りを課し、今後の自身の学習における課題を把握できるようにする。 2年: 定期試験後などで振り返りを課し、今後の自身の学習における課題を把握できるようにする。 3年: 定期試験後などで振り返りを課し、今後の自身の学習における課題を把握できるようにする。